

燃料タンク T-314Y(200L)、T-316Y(250L) 発売のご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品に対し格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、首題の件、新規格車等への架装性の向上を目的にT-318Yのバリエーション追加としてT-314Y(200L)、T-316Y(250L)を発売致します。

従来サイズと合わせてご用命の程、宜しく願い申し上げます。

敬具

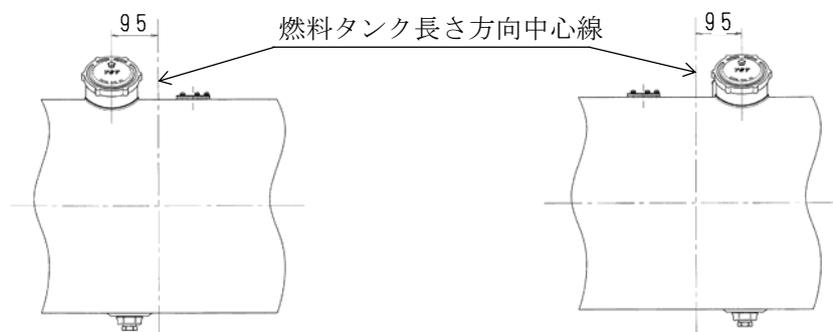
記

1. 品番

品名	容量(L)	長さ(mm)	奥行き(mm)	高さ(mm)	質量(kg)	備考
T-314Y	200	825	603.2	453.2	39.3	ステー、バンド及びユニットゲージはT-318Yと同じものを使用します
T-316Y	250	1020			44.2	

2. 注意事項

- (1) 給油口(ドレンプラグ)位置は架装性を考慮して下図の通り、弊社従来品に対しまして燃料タンクの長さ方向の中心線に対し左側としております。車両への取付けの際は注意願います。



T-314Y、T-316Yの給油口位置

従来品の給油口位置(T-318Yの例)

- (2) 車両への取付けに際しましては、弊社「取付け時のご注意」(燃料タンク本体に添付)をお守り下さい。
なお、特に高さ方向で弊社指示位置に取付けることができない場合は、別紙の「T-31Y型燃料タンクの下方取付け要領(JPT 10-012)」により取付けて下さい。
ご不明な点がございましたら弊社担当までお問合せ願います。

3. 発売時期

平成22年12月予定

4. その他

本紙及び「取付け時のご注意」につきましては弊社ホームページより印刷できます。

ホームページ : <http://www.ystank.co.jp>

以上

T-31Y 型燃料タンク下方取付け要領

T-31Y 型(T-314Y、T-316Y、T-318Y)燃料タンクの取付けに際しまして、取付け高さが弊社指示寸法(タンク高さ1/2が車両側シャシーフレーム下端より下とならない)を確保できない場合は、本要領により取付けて下さい。

1. 取付け要領

- (1) 図1のようにスペーサーをシャシーフレームとステアの間に入れ、ステアをシャシーフレームに取付けて下さい。
 スペーサーは弊社部品(スペーサー SP-31:図2)又は同等の部品もしくは図1の一枚板の部品を製作して使用して下さい。(4個/台:スペーサーの場合)
 なお、スペーサーの上端はステアの上端より下方にならないようにして下さい。
- (2) シャシーフレーム、スペーサー及びステアの取付け穴は現場加工とし、シャシーフレームへの取付け用としてステア1本当たり4箇所以上、及びスペーサーとステアの固定用として、スペーサー最下端より約60mmの位置で2箇所開けて下さい。(φ13)
 なお、加工した穴のバリは確実に取り除き、必要に応じて塗装等の防錆処置を行って下さい。
- (3) 取付けはM12x1.25の7T以上のボルトで、首下の長さはばね座金を挿入した後に確実にナットの締付が行えるものを使用して下さい。
- (4) その他につきましては、弊社「取付け時のご注意」(燃料タンク本体に添付)により取付け願います。

2. 注意事項

- (1) 下方取付け寸法hは最大で50mmまでとします。(図3参照)
- (2) スペーサーを使用しない燃料タンクの下方取付けは、絶対に行わないで下さい。
- (3) 燃料タンク、ステア及びバンドの早期不具合の原因となりますので、上記注意事項をお守り下さい。
 なお、本要領通りの取付けができない場合は、別途ご相談下さい。

以上

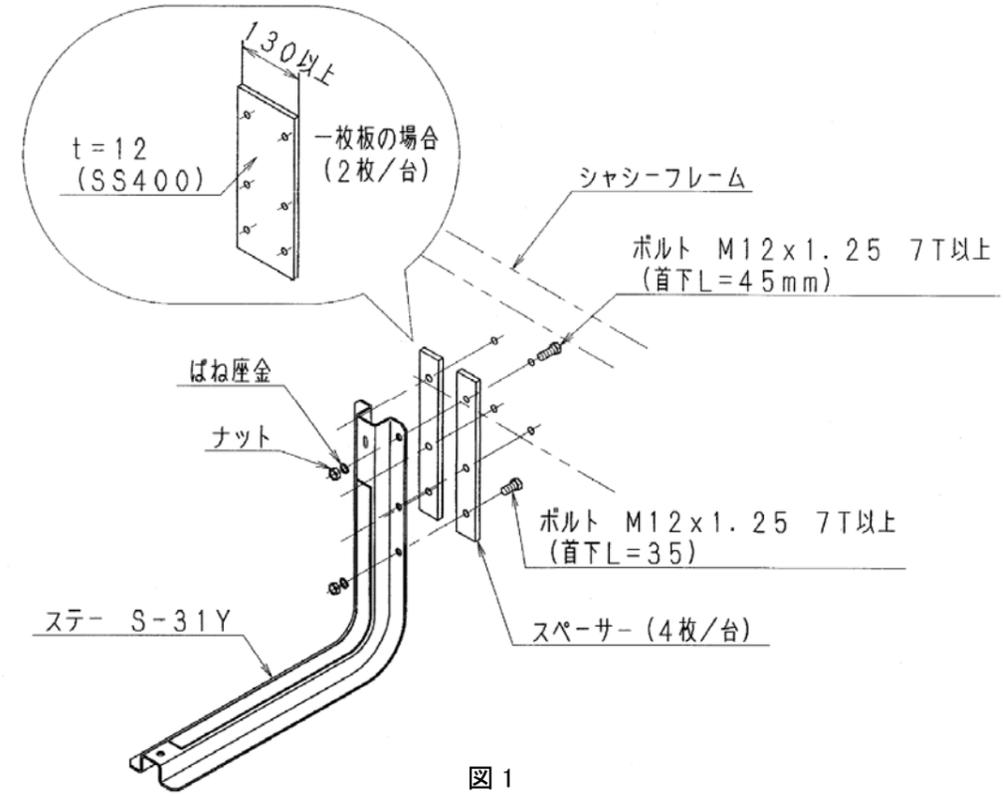


図1

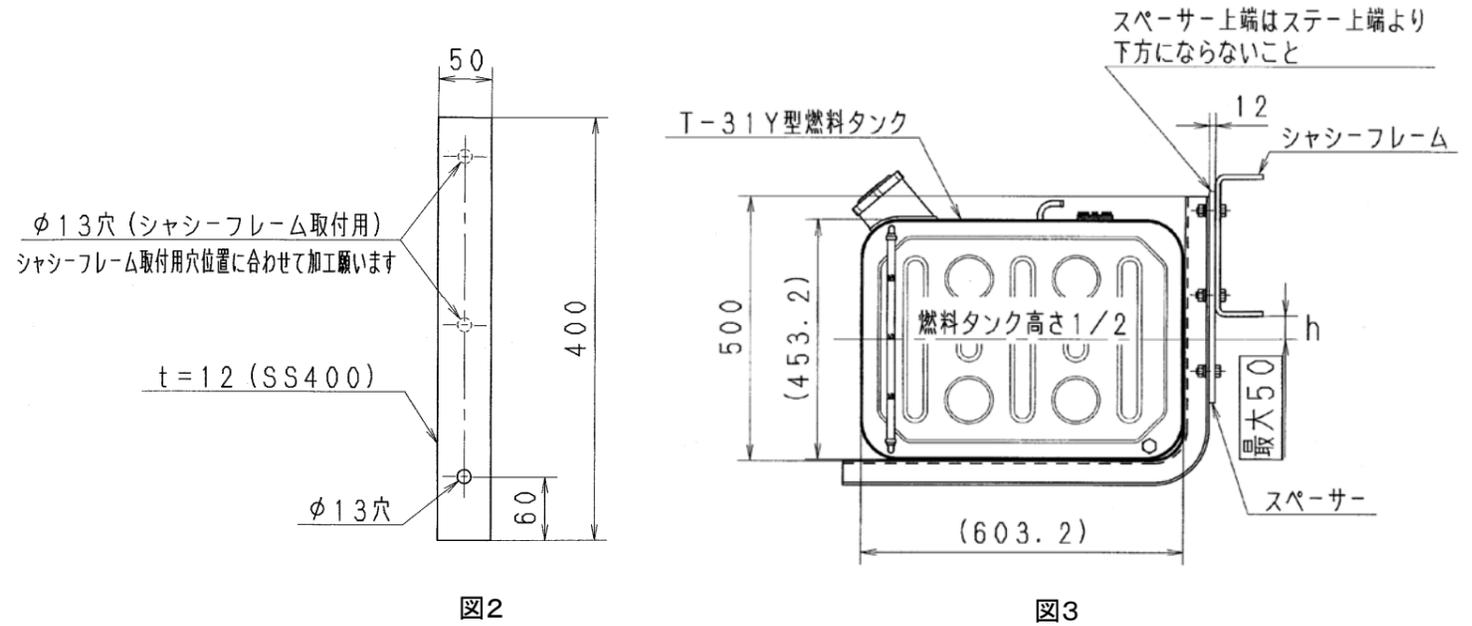


図2

図3